



# あ い こ せ た め

「よしか祭 生徒と教職員の気持ちは密に」

校長 渡部 敏郎

この夏の全国的な新型コロナウイルス感染拡大を受けて、今年のよしか祭は保護者や地域の皆様のご来場を遠慮願ひ、生徒と教職員のみが無観客で実施しました。当日は参加者全員への検温を実施し、体育館においてはマスクとフェイスシールドを併用したり、観客席間の確保やステージ上の人数制限等の感染予防策を講じました。制限された中ではありましたが、生徒全員の力で繋がり一体感を演出してくれました。そして文化祭の最後には3年学年部教員による「糸」の合唱が披露され、サブタイトルである「人と人を繋ぐ場所」を強く実感できる最高のフィナーレを迎えることができました。続く体育祭当日は酷暑と落雷のため一部競技の縮小を余儀なくされましたが、無事に3日間の全日程を終えることができました。日頃から応援いただいているすべての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



## R2年度 よしか祭 (文化祭) ~ 8月28日 (金)・29日 (土) ~

今年度のよしか祭のテーマは『縁架 (よしか) ♡人と人を繋ぐ場所♡』です。今年度も生徒たちは、協力しながら学園祭の準備を進めて本番を迎えました。今年はマスクとフェイスシールドなどの対策を行い、体育館で椅子の配置もゆったりと取り、換気を良くした上でステージ発表や上映を中心に行いました。

### 〇8月28日 (金) よしか祭 (文化祭①)

#### <部活動・委員会の展示>

本年度は体育館に展示スペースを設けて、文化部と図書委員会・保健委員会が日頃の取り組みを紹介しました。

～ 茶道部 ～

～ 写真部 ～

～ 図書委員会 ～

～ 美術部 ～

～ 華道部 ～



#### <地球のステージ>

桑山紀彦氏を講師に迎え、昨年度に続いて講演をしていただきました。紛争や貧困の中で、一生懸命生きている世界の人々の暮らしや、その中で生まれる希望について考えさせられる講演でした。また、新しい人々との出会いを通して、自分の生き方を見直し新たな一歩を踏み出すことの大切さを考えさせられました。

#### <未成年のつばやき>

体育館の2Fギャラリーより、それぞれが自分たちの思いを述べました。



#### <クラスムービー>



それぞれのクラスが力を合わせて、独自の感性で完成させた力作が上映されました。

祝！優勝 3年2組

#### <仙人の手 (部活動発表)>

各部活動が工夫を凝らして、楽しいステージを用意しました。ステージ発表を行った部活動や準備した動画を上映した部活動もありました。地域クラブは8月に参加したSBPでの発表の様子を記録映像で紹介しました。

### 〇8月29日 (土) よしか祭 (文化祭②)

#### <音楽部発表>

#### <有志：バンド発表>

#### <有志：ダンス発表>

#### <Yoshika HS Collection>



## R2年度 体育祭 ～ 8月30日(日)～

### 〇8月30日(日) 体育祭

午前中は快晴の中、日差しの強さにも負けず、生徒たちは精一杯それぞれの競技に取り組みました。応援合戦も練習の成果を発揮して、息の合った素晴らしい発表を行うことが出来ました。お昼を過ぎて雷がなり天候が悪化したため、体育館に移動して規模を縮小して残りの競技を行いました。生徒たちは、精一杯の力を発揮して競技に取り組み、体育祭を楽しむことが出来ました。



## 1年生高大協働研究・地域の方との座談会



8月21日(金)、1年生が高大協働研究を行いました。例年、青山学院大学・法政大学の学生が吉賀町に訪れ、本校生徒とともに地域課題探究活動を行っていますが、今年度は新型コロナの影響により、オンライン交流となりました。23名の大学生と画面上で顔を合わせながら、アントレプレナーシップ教育のアドバイスをいただいたり、高校生活や大学生活について語り合ったりなど、生徒たちにとって有益な情報を得ることができました。今後もオンラインによる大学生交流を、継続的に活発に行っていく予定です。



また、同日、地域の方との座談会も実施し、「教育・子育て」、「拠点づくり・インフラ・防災」、「観光・自然・産業」、「伝統・文化・祭り」のテーマ別に、地域や役場の方、実際に子育てされている方などをお招きし、大学生と共にお話を聞くことができました。地域の方々の生の声を受けて、今後の活動に生かせるよう努めていきます。

## 地域みらい留学(生徒募集)



7月25日・26日、8月22日・23日の4日間、地域みらい留学オンライン説明会に吉賀高校も参加しました。実際に県外から進学した吉高生、教職員、役場職員、コーディネーターなどのメンバーで、地域みらい留学に興味関心を持っている小中学生や保護者の皆様に吉賀高校の説明やリアルな吉高生の声を届けたり、質問に答えていきました。



テーマ別説明会では、【地域の中で学ぶ特徴的なカリキュラム】【特徴ある寮】のブースに参加し、高大協働研究で交流している青山学院大学の大学生にも協力していただきました。吉賀町に関わってくれている大学生の視点から、吉賀町の印象や吉高生と交流した感想なども伝えることができました。9月以降もオープンスクールなどで吉高生や吉賀高校に関わる大人の声を発信していきたいと思えます！

## 地域クラブの活動 ～ 最近の取り組み ～

### 〇 SBP(全国高校生ソーシャルビジネスプロジェクト)に参加

3年生5名が、「よしかの里」の方と共に地元でとれたジャムを使ってコッパンを作りました。そして、その計画や制作の過程をまとめ、オンラインでSBPに参加して発表しました。堂々と発表をして、参加22校の中から予選を勝ち抜き本戦に出場しました。最終的には決勝に進んだ6校の中で上位2校に入り、みごと「SBP特別賞(南伊勢町長賞)」を受賞しました。今後は後輩に引き継いで、完成度を高めていきたいと思えます。



### 〇 ボランティア養成講座第2回に参加

8月5日(水)に「あゆみの里レインボーハウス」と「のぞみの里」でボランティア養成講座に2年生が2名参加しました。「あゆみの里レインボーハウス」では玉ねぎの選別作業に取り組み、「のぞみの里」ではお花の苗の準備作業をしました。

